

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	持田団地建替事業			開始年度	平成16年度			
基本目標	歴史と伝統を生かしたうおいのあるまちづくり			終了年度	平成21年度			
担当課(局)	建設管理課	担当係	建築・都市計画係	記入者	川越 英治		評価者	芥田 秀則
21年度決算	396,465	千円	22年度予算	0	千円	事業の実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 補助	<input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	17,268 千円		22年度人件費	0 千円		事業従事者数	2.37 人	0.00 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	農業・歴史・伝統の調和した良好な住環境を形成し、ふれあいと安らぎを感じ元気のある地区を再構築する。
事業の内容	①持田団地の建替え建設②老人福祉センター建設③持田地区まちづくり協議会活動

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 事業の進捗	21年度完成8棟(20年度からの繰越2棟+21年度完成6棟)
	2	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 工程調整	週1回の工程会議を行い、各業者の進捗状況や取りまとめを行った。
	2	
	3	

◎達成状況

成果指標	指標名	単位	達成率		
			20年度	21年度	22年度
事業の進捗	目標値	棟	6	6	0
		実績値	4	8	
		達成率	66.7%	133.3%	
	0	目標値			
			実績値		
			達成率	#DIV/0!	#DIV/0!
工程調整	目標値				
		実績値	30	50	0
		達成率	100.0%	120.0%	
	0	目標値			
			実績値		
			達成率	#DIV/0!	#DIV/0!

◎事務事業の評価

妥当性(必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	①持田地区全体の活性化、再構成という大規模事業のため、町主体で事業をおこなった。今後の他団地の事業においては、民間との共同の可能性はある。②事業の内、福祉施設の管理・運営は健康福祉課、地域内協議会開催は政策推進課で行っている。③事業廃止による影響は大きい。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	(成果)幅広い年齢層の公営住宅入居者の増加により、居住人口の減少や高齢化の進行に歯止めをかけた。②(改善の余地)福祉施設の運営稼働により、一層の交流人口の増加が期待される。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	建築基準法改正(H19.6)の外部要因のため事業執行が遅れたが、業者との緊密な協力体制により、予定とおり平成21年度までに事業を執行した。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	良好な住環境や元気のある地区を再構成するためには、どのような地区内交流が可能か、地区住民に検討してもらい、実現してゆく。

事務事業名	持田団地建替事業	担当課(局)	建設管理課
-------	----------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	21年度で事業完了 住宅環境、入居率の改善が図られた。	今後の方向性			
			事業の方向性	拡充	現状維持	縮小
			○			
			廃止	縮小	現状維持	拡充
			コスト			

事務事業評価委員会 評価欄	事業	廃止	◎今後の建て替え計画などの検討が必要である。
	コスト	廃止	